



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 大

上場会社名 田淵電機株式会社

コード番号 6624 URL <http://www.zbr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 貝方士 利浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部統括

(氏名) 佐々野 雅雄

TEL 06-4807-3500

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,426	△20.4	17	778.4	△49	—	△84	—
23年3月期第1四半期	8,075	17.1	2	△85.7	△131	—	△197	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △161百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △336百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2.36	—
23年3月期第1四半期	△5.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,118	1,399	8.8
23年3月期	13,515	749	4.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,325百万円 23年3月期 654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	△3.1	300	918.7	150	—	0	—	0.00
通期	33,000	0.2	900	36.6	600	182.7	400	5,366.5	10.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	40,502,649 株	23年3月期	35,302,649 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	66,715 株	23年3月期	66,715 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	35,807,363 株	23年3月期1Q	35,237,743 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8
(6) 重要な後発事象.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、生産活動や個人消費が落ち込む中、一部、省エネ関連など消費の回復が見られたものの、円高の進行や原油価格の高止まりなどから、依然として厳しい状況で推移しました。

また、世界経済においても、米国の景気停滞や欧州における財政問題などにより、景気減速の兆しが見られました。

このような経営環境の下、当社グループでは、『SHIFT THE POWER』をテーマとして本年度をスタートとする5ヶ年の中期経営計画「MBP15」を策定し、今後、ますます注目される環境・エネルギー分野へ重点シフトを図り、パワーコンディショナを中心としたパワーエレクトロニクス事業の強化拡大に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、震災による部材調達難や消費マインドの落ち込みの影響を受けて、総じて低調に推移し、6,426百万円（前年同四半期比20.4%減）となりました。また損益につきましては、高付加価値商品の拡販や材料費・経費の低減に取り組み、営業利益は17百万円（前年同四半期比778.4%増）、円高による為替影響などにより経常損失は49百万円（前年同四半期は経常損失131百万円）、四半期純損失は84百万円（前年同四半期は四半期純損失197百万円）となりました。

セグメントごとの売上高は次のとおりであります。

①変成器事業

変成器事業は、エアコン用リアクタ等が堅調に推移し、売上高は2,574百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

②電源機器事業

電源機器事業は、アミューズメント用電源や薄型テレビ用電源が震災影響やエコポイント制度の終了の影響を受け減少し、太陽光発電用パワーコンディショナについても、震災による部材調達難の影響を受けるなど、売上高は3,852百万円（前年同四半期比32.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は15,118百万円となり、前連結会計期間末に比べて1,603百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金が1,251百万円、たな卸資産が418百万円増加したこと等によるものであります。

負債は13,719百万円となり、前連結会計期間末に比べて953百万円増加いたしました。これは主として、有利子負債が852百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は1,399百万円となり、前連結会計期間末に比べて650百万円増加いたしました。これは主として、第三者割当増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ416百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績につきましては、現在取り組んでいる諸施策及び現下の受注状況を勘案し、平成23年5月13日公表の業績予想に変更はありません。

・連結業績予想（第2四半期連結累計期間）

売上高	15,000百万円	（前年同期比	96.9%）
営業利益	300百万円	（前年同期比	1,018.7%）
経常利益	150百万円	（前年同期比	—）
四半期純利益	0百万円	（前年同期比	—）

・連結業績予想（通期）

売上高	33,000百万円	（前年同期比	100.2%）
営業利益	900百万円	（前年同期比	136.6%）
経常利益	600百万円	（前年同期比	282.7%）
当期純利益	400百万円	（前年同期比	5,466.5%）

為替レートは1ドル80円を前提としております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成21年3月期におきまして重要な当期純損失を計上いたしました。前連結会計年度には、営業利益、経常利益、当期純利益とも黒字となりましたが、円高及び株価の下落により純資産は減少しました。また、当第1四半期連結累計期間におきましては、震災の影響もあり、営業利益は黒字となりましたが、経常利益、四半期純利益は赤字となりました。

引き続き厳しい経営環境が見込まれる中、当社グループでは、抜本的方策として、電源機器事業において価格競争の激しい民生用電源機器についてはさらなる原価努力をし、医療器・産業機器向け等、より高付加価値が見込める分野へリソースをシフトいたします。加えて、十数年にわたる住宅用太陽光発電用パワーコンディショナの国内トップメーカーとしての基盤を生かし、昨今、注目を集めているクリーンエネルギーを中心としたエネルギーマネジメントシステム関連分野へ注力してまいります。

具体的には、太陽光発電・風力発電・燃料電池等の各種エネルギー源に対応したハイブリッド・パワーコンディショナや学校・工場等の中規模施設向け中容量タイプの発売を開始しました。また、震災後需要が拡大している太陽光発電と蓄電池との「自立型蓄電機能付きパワコン」の商品開発を行うなど、今後、当該分野に社内資源を集中させ、積極的な市場展開を図ります。

そのために、コスト競争力強化を図るための海外生産展開や生産能力増強に向けた設備投資、及び、研究開発投資などにより事業基盤を強化し、着実に収益体質の改善につなげてまいります。これら設備投資や研究開発投資に充当するため、当第1四半期には、第三者割当による増資を行うなど、収益基盤の強化とともに、財務体質の改善も図ってまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,350	2,601
受取手形及び売掛金	4,315	4,141
商品及び製品	1,043	1,158
仕掛品	397	510
原材料及び貯蔵品	2,141	2,331
繰延税金資産	10	12
その他	361	428
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	9,619	11,184
固定資産		
有形固定資産	2,221	2,290
無形固定資産		
のれん	6	3
その他	122	119
無形固定資産合計	128	122
投資その他の資産		
投資有価証券	1,219	1,185
その他	317	319
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,535	1,504
固定資産合計	3,885	3,917
繰延資産	10	17
資産合計	13,515	15,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,804	5,697
短期借入金	1,879	3,050
1年内返済予定の長期借入金	880	734
1年内償還予定の社債	260	260
リース債務	192	181
未払法人税等	43	45
賞与引当金	102	105
その他	546	758
流動負債合計	9,709	10,833
固定負債		
社債	540	540
長期借入金	1,442	1,312
リース債務	317	284
退職給付引当金	558	560
その他	197	188
固定負債合計	3,056	2,885
負債合計	12,765	13,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,195	3,611
資本剰余金	—	416
利益剰余金	△1,255	△1,339
自己株式	△12	△12
株主資本合計	1,928	2,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△273	△315
繰延ヘッジ損益	△15	△14
為替換算調整勘定	△983	△1,020
その他の包括利益累計額合計	△1,273	△1,349
少数株主持分	94	74
純資産合計	749	1,399
負債純資産合計	13,515	15,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	8,075	6,426
売上原価	7,408	5,837
売上総利益	667	589
販売費及び一般管理費	665	571
営業利益	2	17
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	4
持分法による投資利益	1	12
デリバティブ利益	—	16
その他	4	7
営業外収益合計	11	41
営業外費用		
支払利息	37	40
為替差損	52	45
デリバティブ損失	25	—
その他	30	22
営業外費用合計	145	109
経常損失(△)	△131	△49
特別損失		
固定資産除売却損	9	0
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△141	△50
法人税、住民税及び事業税	38	42
法人税等調整額	9	△13
法人税等合計	47	29
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△189	△80
少数株主利益	8	4
四半期純損失(△)	△197	△84

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△189	△80
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	△41
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△44	△35
持分法適用会社に対する持分相当額	16	△5
その他の包括利益合計	△146	△80
四半期包括利益	△336	△161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△340	△161
少数株主に係る四半期包括利益	3	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,384	5,691	8,075	—	8,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	424	—	424	△424	—
計	2,808	5,691	8,500	△424	8,075
セグメント利益又は損失(△)	43	△39	3	△1	2

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円には、のれん償却額△3百万円等が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,574	3,852	6,426	—	6,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	318	—	318	△318	—
計	2,892	3,852	6,745	△318	6,426
セグメント利益又は損失(△)	149	△127	21	△3	17

(注) 1. セグメント利益の調整額△3百万円には、のれん償却額△3百万円等が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月21日付で、TDK株式会社、株式会社銭高組、株式会社みずほ銀行、大阪瓦斯株式会社及びミヨシ電子株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が416百万円、資本準備金が416百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,611百万円、資本剰余金が416百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

(当社退職給付制度の移行)

当社の退職給付制度は、適格退職年金制度を採用しておりましたが、平成23年7月1日から確定拠出年金制度及び退職一時金制度へ移行いたしました。

この移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用する予定であります。なお、移行に伴う損益への影響額は算定中であります。